

# 県議会だより

2018年7月発行 ■TEL.029-301-1225  
■編集・発行責任者：茨城県民フォーラム  
■水戸市笠原町 978-6 茨城県議会県民フォーラム控室



satou@mx10.ttcn.ne.jp



hmmr6504@biscuit.ocn.ne.jp



eshidara@hotmail.co.jp



futakawa.hidetoshi@mocha.ocn.ne.jp



私たち茨城県民フォーラムは、  
茨城県政・県議会に対することなど  
さまざまな角度から皆様のご意見  
お待ちしております。

茨城県民フォーラム 代表

はせがわ しゅうへい

## 長谷川 修平

✉ s-hasegawa@net1.jway.ne.jp

🌐 http://www.net1.jway.ne.jp/s-hasegawa/

## 平成30年第2回定例県議会審議内容報告

第2回定例県議会が6月1日から18日間の日程で開催され、条例その他の議案として13件、報告事項1件が提案され、18日の最終日に原案どおり可決されました。

### 知事提案説明

県議会定例会の開会において、知事より議案等の説明と報告がありました。説明内容の一部を抜粋いたします。

- 県庁を挑戦する意識を持つ組織へと変えていくとともに、その変化が県全体にも広がり、県民の皆様にも「茨城は変わった」「自分もチャレンジしよう」と思っていたような「新しい茨城づくりに向けた取組み」について
- 来年開催されるG20サミット閣僚会合の貿易・デジタル経済大臣会合が、6月8日・9日につくば国際会議場で開催されることが決定し、これを本県の情報発信の機会とする「世界に飛躍する茨城」について
- 日本一の生産量を誇る本県農産物のひとつである「メロン」の認知度向上と販売促進をはじめ、県内の観光地における夏の誘客など、新たに設置した営業戦略部を中心とした「本県の魅力発信の取組み」について
- つくば地域の研究機関から産業界への技術移転や起業につながる研究開発を促進するため、県と筑波大学との間で締結した「つくば産学連携強化プロジェクトに関する覚

書」の支援など、「ベンチャー企業の創出・育成支援」について

- 英語教育において、英語の学習意欲・能力の高い中高生40名を対象に、インターネットを活用したトップレベルの英語学習や海外留学生との交流等を実施する「次世代を担う子どもの育成」について
- 待機児童解消に向けて、本年度新たに設置した「いばらき保育人材バンク」、新婚夫婦や結婚予定の方々を対象とした優待制度など、「日本一、子どもを産み育てやすい県」について
- 2019年開催予定の第74回国民体育大会及び第19回全国障害者スポーツ大会に併せ、全国初となる都道府県対抗eスポーツ大会開催の決定について
- 3月28日供用を開始した、県道筑西つくば線バイパスの筑西市宮山地内から中根地内までの2.2キロメートル区間の円滑な交通確保を報告する「道路の整備状況」について

### 条例その他

- ①茨城県県税条例等の一部を改正する条例
- ②茨城県旅館業法施行条例の一部を改正する条例

- ③医療法に基づき病院及び療養病床を有する診療所の人員及び施設に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例
- ④茨城県保健師、助産師、看護師及び准看護師修学資金貸与条例の一部を改正する条例
- ⑤茨城県海外対象医師修学研修資金貸与条例の一部を改正する条例
- ⑥茨城県工業技術センターの使用料及び手数料徴収条例の一部を改正する条例
- ⑦茨城県都市計画審議会条例の一部を改正する条例
- ⑧茨城県鹿島臨海都市計画下水道事業及び流域下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
- ⑨茨城県県立学校設置条例の一部を改正する条例
- ⑩⑪県有財産の売却処分について（東茨城郡・つくば市）
- ⑫⑬工事請負契約の締結について（仮称北沢トンネル本体工事1・2）

### 報告事項

地方自治法第179条第1項に基づく専決処分について

# 常任委員会報告

第2回定例会で6月12日に開催された各常任委員会の質疑応答について、一部抜粋してご報告致します。



## 総務企画委員会

佐藤 光雄 委員

**質問内容** 県内の広域連携の状況と公文書管理について

Q 県内の広域連携の状況及び水戸市の中核市移行の状況は？ A 浅野市町村課長／県内の5万人以上の定住自立圏は3つあり、水戸市を中心とした圏域に加え、小山市を中心とした圏域に結城市、大田原市を中心とした圏域には大子町が参加し、それぞれ福祉や医療等の取組みを行っている。水戸市の中核市への移行は2020年4月を目指している。Q 公文書は健全な管理が求められているが、県ではどのように行っているか。 A 篠原参事兼総務課長／本県では規程により必要な事項を定め、職員はこれに従い文書の管理を行っている。また研修や文書事務の手引きの作成等を通じて、職員に対する周知徹底を図っている。



## 防災環境産業委員会

齋藤 英彰 委員

**質問内容** 県北ものづくり産業活性化支援事業と県内の消費生活センターにおける消費生活相談について

Q 県北ものづくり産業活性化支援事業は開始から1年経過するが現状は？ A 高崎技術革新課長／本事業は国の地域活性化雇用創造プロジェクトを活用し、県北地域を対象とした支援を3か年にわたり実施する。昨年度は販路開拓支援に32社、技術力・生産性向上支援は15社を支援し、新たな雇用を創出した。Q 消費生活センターにおける相談件数・内容・相談者の年代別状況は？ A 石浜参事兼生活文化課長／近年の相談件数は約2万3千前後と横ばいで推移、やや減少傾向にはある。最も多いのがデジタルコンテンツに関する相談で、次いで架空請求等を含む商品一般に関するもの。年代別では70歳以上が全体の22.3%となっており、60歳以上は全体の4割を占めている。



## 土木企業委員会

設楽 詠美子 委員

**質問内容** 県南西工水の連絡管整備と筑西幹線について

Q 道路に関する要望数及びその内容、また何が要因で増えているのか。 A 柳澤技監兼道路維持課長／平成20年度は7千件ほどであったが、29年度には1万件を超えている。内容では道路路面、草刈りに関するものが多く、原因としては、路面は大型車両が増えたことによる舗装の劣化進行、草刈りに関しては草刈り幅の縮減等があげられる。Q 筑西幹線について市内の進捗状況、また市とはどのような話し合いをしているか。 A 仙波道路建設課長／国道50号から筑西市内においては、県と市にて役割分担をしながら、筑西大橋は県、その前後の区間は筑西市が整備を行ってきた。その先線については市とルートについて協議を行っている。



## 営業戦略農林水産委員会

二川 英俊 委員

**質問内容** 那珂川の塩水遡上による塩害発生とゲノム編集技術について

Q 農業用水の利用が増える時期是那珂川で塩水が遡上し、塩害が発生するが、ここ最近の状況は？ A 石井農村計画課長／平成25年から河口に一番近い大杉山揚水機場で潮見運転を行っているが、今年実施した際には取水への影響は出ていない。Q 県におけるゲノム編集技術への対応状況及び品種育成のための取り組みは？ A 藍原農業技術課長／ゲノム編集技術は国際的なルールがまだ定まっていないこともあり、現在のところ県では本技術を利用した品種育成は行っていない。ゲノム編集技術には及ばないが、イネ、メロン、ナシ等の幅広い品目でDNAマーカーによる選抜育種を積極的に取り入れて効率的な品種育成を進めている。



## 文教警察委員会

長谷川 修平 委員

**質問内容** 高齢者における自動車運転状況と対策について

Q 全国で高齢者ドライバーを対象に、1年間で約210万人を検査をしたところ、5万7千人が第1分類認知症の恐れがあるとのことだが、本県ではどのような状況か？また、教習所における認知機能検査の受験待ちに関して、本県は平均81.3日と全国で2番目に長く待たされるとの報道があったがこれについても伺う。 A 関根運転免許センター長／検査を受けた方のうち、第1分類は更新時と臨時をあわせて2,314人であった。受験待ちの平均日数は75.7日と若干改善した。最寄りの教習所での受け入れ人数に限度があることなどの原因に対し、県警では、運転免許センター内に高齢者講習専用電話を設置するなどの対応で、待ち日数の短縮に取り組んでいる。

## 保健福祉医療委員会の審議状況

保健福祉医療委員会に付託された、第87号議案「茨城県旅館業法施行条例の一部を改正する条例」、第88号議案「医療法に基づき病院及び療養病床を有する診療所の人員及び施設に関する基準等を定める条例の一部を改正する条例」、第89号議案「茨城県保健師、助産師、看護師及び准看護師修学資金貸与条例の一部を改正する条例」、第90号議案「茨城県海外対象医師修学研修資金貸与条例の一部を改正する条例」、報告第2号「地方自治法第179条第1項の規定に基づく専決処分について」のうち、別記1「平成29年度 茨城県一般会計補正予算第5号」中、保健福祉医療委員会所管事項は、審査の結果、いずれもその内容を適切なものと認め、原案のとおり可決又は承認すべきものと決定しました。審査においては、県立病院の果たすべき役割、海外からの医師確保対策、薬物乱用防止への取り組み、障害者の就労支援、幼児教育・保育の推進などが論議されました。